

ウクライナ支援報告

支援の概要

4カ月ぶりの支援報告です。この間、9月までは新学期に向けた教育支援、9月末にはリトアニアへの遠征支援、10月からは越冬支援が主な活動内容です。現在、2022年の開戦当初から数えて4回目の越冬支援が始まっています。今までと変わらず、防寒具やヒーター、キャンプマットなどの支援依頼があります。

ヴィルニユス



リトアニアでは在リトアニア日本国大使館の計らいを受け、ウクライナセンターにて和太鼓コンサート、書道パフォーマンス、そして書道ワークショップを行ってきました。リトアニアに避難している多くのウクライナの人々が来場してくれました。同じようなステージは杉原千畝の活躍で知られている第二の都市カウナスでも実施しました。

書道パフォーマンス



カウナス



リトアニア公演

9月27日から29日までのリトアニア遠征支援には、ワルシャワ日本語学校にある和太鼓グループ「アマテラス」から2人の賛同メンバーも同行してくれました。ワルシャワからは車で約6時間の遠征です。

今回のコンサートやパフォーマンスは初めて、ウクライナ語で行われたステージとなりました。和太鼓の音は爆発音に近く、避難民に戦争を思い出させてしまうのではないかと大変心配していました。しかし、演奏後には多くの方から「元気になった」「士気を上げるためにウクライナでもコンサートをしてほしい」と言った声が多く聞かれとても安心しました。

書道ワークショップでは、参加者は基本線を練習し、最後には自分の名前を漢字で書くという課題に挑戦しました。尾崎大使初め在リトアニア日本国大使館のみなさんには大変お世話になりました。



ジトーミル州

ジトーミルのチェルノブイリ医療関係のドンチェバさんとのつながりができ、この度初の直接支援をジトーミルの子ども達に対して行いました。後に紹介する「夢ノート」に加え、資金集めなどに使ってもらうために多数の墨絵を提供、そして両親を失った子ども達に対してお菓子や衣類、布団などを送りました。その他、ドンチェバさんと共にスーパーに行き、ヨード入りの塩などを大量に購入しました。今後も支援を続けていきたいと思っています。



スームィ州

スームィ州は現在ウクライナの越境作戦が行われているロシアのクルスク州と隣接しています。そのため、今まで以上に頻繁に空爆にさらされ、多くの人が家を失い、医療もひっ迫し、学校などにも空爆被害が出ています。こんな状況下にあって、スームィ州の孤児院に対して渋谷ライオンズクラブと協力して通学バスを届けました。その他にも埼玉の高校生富澤さんとの協力で実現した大量のおむつ提供や医療支援、スポーツクラブへの器具支援を実施しました。次は越冬支援物資を入れます。



ハリキウ州

ハリキウ州に対しては開戦当初から協力関係にあるUA FUTURE代表の友人を通して様々な医療支援などを入れてきました。

同様に今まで何度か、ハリキウでボランティア活動が続けていた土子さんが主体となって運営していたフミカフェに対しても郵送や他のルートを通じて支援を入れてきました。現在そのカフェは異なる2つの支援団体に分かれたことから、2カ所にそれぞれに対して子どものための支援を届けました。郵送は一度に20キロまでしか送れないなどの制約があります。

後に紹介する夢ノートも子ども達に届けました。



リヴィウ州

リヴィウ州にも複数の支援先があり、そのほとんどが小学校です。まず、老朽化し落下の危険があった三角窓（写真右）の修繕を行いました。この小学校は以前迎撃ミサイルの影響で窓ガラスが割れるなどの被害があり、この窓もいつ落ちるか分からない状態でした。

教科書がない小学校に対してはプリンターやパソコン、そしてモニターなどの物資を届けました。モニターはホールに取り付けられ、そこで様々な授業が行われています。

別の学校には教育支援物資と共に日本からいただいたおもちゃを届け、子ども向けのイベントで配られました。とても喜ばれ、またおもちゃを届けてほしいという声が届いています。



テルノーピリ州

7月の初めから、今まで2年4カ月に渡ってポーランドに避難し昨年9月には来日も果たした4姉妹がウクライナ・テルノーピリ州クレメネチ第一小学校に戻っています。こちらの小学校に対しても教育支援を実施しました。技術家庭科のためのミシンや工具、教科書がない状態を改善するためのプリンター、その他にも老朽化し使用にあたり常に子どもが怪我をする危険があった運動場のフェンスの修繕も進めています。空襲時に子ども達が避難している地下壕の壁にも花を描いてもらっています。

人手不足が深刻化する中、多くの子ども達、先生方、保護者や地域みなさんに力を借りています。



ポーランド

昨年もいらっしゃっていたクラウンの大棟さん一行が9月、ウクライナとポーランドを訪問。ポーランドではウクライナの子ども達に対してパフォーマンスをしていただきました。坂本も書道パフォーマンスでコラボしました。

10月には今まで私のウクライナ支援に多大なる理解と応援をいただいていた在ポーランド日本国大使館の宮島特命全権大使が離任なさいました。今後も日本から応援しているという心強い言葉をいただきました。離任式では和太鼓を演奏しました。

夏休み、ポーランドにいるウクライナの子ども達にウクライナ語やウクライナの伝統文化を伝えることを目的とした自助団体「葵」の活動に参加し、書道ワークショップを行いました。子ども達、カタカナで名前を書く練習をしました。

以前ウクライナに住んでおり、現在はポーランドにいらっしゃる糸澤さんとの協力でハリキウにおむつを、その後ヘルソン州にディーゼル発電機を提供しました。今後も必要に応じて様々な方と協力を続けて参ります。



夢ノートプロジェクト



9月から始まった新学期に合わせ、オルヴェオン グローバル ジャパン株式会社社長の菅野沙織さん達と協力し、ウクライナの子



ども達に自作の夢ノートを送るプロジェクトを実施しました。



ノートは計3000冊印刷され、ウクライナではハリキウ、ジトームル、テルノーピリ、リヴィウ、スームィなどに送られました。各地から喜びの声と共に、子ども達が夢ノートを手にした写真が今でも報告で送られてきます。

ポーランド国内、そしてリトアニアでも夢ノートの配布を行いました。



教科書の印刷さえままならないウクライナにおいて、今回のプロジェクトは大変好評でした。第二学期に合わせて次なるノートの作成を考えていきたいと思います。

